

山中湖村の新しい時代が始まります!

高村朝次村長が、今年12月で引退することを表明しました

9月定例議会の最終日(30日)冒頭、高村朝次村長は、自ら発言を求め「継続中の事業にある程度の目途がついた」「これからは、指導者の思い切った若返りが必要」との理由で、今年12月の任期満了による村長選挙には出馬せず、引退することを表明しました。

高村朝次村長の3期12年にわたる村政は、「全村公園化構想」と銘打って観光客の誘客を目的とした大型観光施設を次々と建設しました。

トップダウン方式の発想力、企画力、行動力は、歴代に類をみないものでありました。

しかし、村政執行過程における公平性や公明性、また、出来上がった施設の魅力や集客力にいろいろな疑問や問題があり、村民にはその実態が殆ど知らされていないばかりか、このままいけば山中湖村財政の破綻は目前に迫っており、ひいては、村民の暮らしに重大な影響を及ぼすこと

は明らかで、このことに大きな危機感を感じました。

従って、「このままの村政の方向をストップさせ、村政の問題点を改革し、魅力ある豊かな村づくりのための軌道修正をしなければ、将来取り返しがつかない事態になる」との信念から、「ストップ・ザ高村朝次村政」、「村長の4選阻止」を目指してきました。

そして、議会活動や「村民かわらばん」を用いて、村民の皆さんに村政や財政の実態を開示し、問題提起をしてきました。

望まれる次のリーダーは、単に年齢が若いというよりも、村政を根本的に改革し、村民を幸せにする熱い情熱と信念が、何よりも必要だと思えます。

なお、村政の改革が実行され「魅力ある豊かな村づくり」を果らせるためには、いわゆる派閥のないさかいを越えて、全村民の総力を結集しな

新しい村政への課題——目標は「豊かな暮らしの観光地」へ

今までは、「観光客が増えることによって暮らしが豊かになる」と考え、そのための政策が立案され実行されてきました。しかし、結果は村民の皆さんのご存知のとおりです。

これからは、「山中湖村は、住民一人ひとりが豊かな暮らしをしいる観光地」という目標を立てたらどうでしょう。

ところで、「豊かな暮らし」のイメージとして、いろいろな解釈がありますが、次のようにまとめてみる事ができます。

- 『安心安全な暮らし』…将来への経済面や健康面での不安や心配がないこと
- 『仲のよい暮らし』……住民どおしが、腹をわってつき合えること
- 『心豊かな暮らし』……豊かで美しい自然環境に感謝し、楽しい日々を送ること

そのためには、村政の次のような見直し作業が必要になります。

●村財政の見直し……山中湖村は、住民の人口に対する税収が、県下一多村です。

しかし、補助金は、同じ不交付団体である忍野村昭和田町の5倍以上(15億円)も国から受けています。

また、財政の健全性を示す経常収支比率は88.2%で、健全性の範囲である70~80%を大きく越えて不健全状態です。

●観光施設や建設工事業の見直し……

- 採算性のあるものは、管理や運営に民間活用を取り入れ、利益を住民に循環させる
- 不採算事業は、閉鎖を含む思い切った事業見直しを行い、採算の取れる政策やアイデアを広く募集する
- 建設中のもは、環境問題や財政面との整合性はかり、中止を含む

長期、中期、短期のプランニングの必要性

●長期、中期プランは、既に平成15年度までに「山中湖村のマスタープラン」が作成されており、これをベースとして住民の視点に立った見直しと修正、補 充などを行う。

●単に山中湖村だけの活性化というのではなく、近隣の市町村(御殿場や箱 根も含)と連絡や連携をはかり広範囲な活性計画を立案し、相互交流や情報交換をしよう。

●短期的プランとしては、ある意味で即効性のある政策が必要です。

直ぐできそうなこと

●山中湖の魅力を整理し、大手旅行会社や広告会社との情報交換と積極的 情報を発信する。

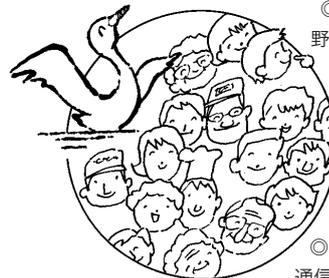
◎旅行雑誌の来年度取材が始まります。広告宣伝方法の研究が急務です。

◎中途半端な宣伝でなく、大きく予算を活用した広報活動を強める必要がありま

◎村民が相互に山中湖の魅力を再発見し、相互に紹介できます。(村民と観光客 が一体化してメッセンジャーとなります)

●一例ですが「山中湖ファンクラブ」というのはいかがでしょうか?

◎山中湖の主役は、もちろん富士山と湖、そして野鳥や植物など豊かな自然環境です。それに加えて、山中湖村の住民一人ひとりも、「山中湖の主役」なのです。



◎これらの主役たちを紹介し、交流を広める「山中湖ファンクラブ」を立ち上げ、来村者(宿泊客を含む)に「山中湖ファンクラブ」の会員になって いただく

◎広く全国(全世界)的に募集し、会員からの通信費程度の年会費をもって運営

◎「山中湖ファンクラブ」の会員には、山中湖を含む四季折々のお楽しみ情報や人物紹介の機関紙を定期的に 発行・発送し、継続的な相互交流を深めていきます。

◎年に数回の「ファン感謝デー(週間でもよい)」を開催し、「ふれあい」を確かめ「山中湖ファンクラブ」の会員を増やしていきます。

◎クラブ会員参加の「村づくり」の提案や実施も可能になります。

◎「山中湖ファンクラブ」の会員を山中湖の基礎客とし、リピーター客、口コミ客を増やしていく。等等……です。

●山中湖の第一印象の改善をしましょう!

◎旅行などに行った場合、目的地の第一印象は、その旅行の全てを決定づけます。

◎山中湖の湖畔周辺の廃船やゴミの撤去は、美しい山中湖の景観の第一条件です。これは直ぐにしなければならないことですし、直ぐできることです。

◎また、看板類の統一や規制による景観美化も絶対に必要です。(上高地など参考)

◎山中湖の玄関口である、旭日丘ターミナル付近、山中明神三叉路付近、平野バス停付近周辺の美化整備にまず着手すべきです(これは時間がかかります)

●住民型の「シンクタンク」(政策の作成と研究組織)も必要だと考えます

お気軽にご参加ください

「議員活動報告会」および「これからの山中湖を考える会」

●10月15日(金)夜7時から

いよいよ、新しい村づくり(村改革)がはじまります。大勢のご参加をお待ちしています。●旭日丘中央公民館(2階講堂)

●村政についてのご意見や励まし・ご提言を、お手紙や電話、FAXで沢山いただいております。さらにいろいろなお意見をお聞かせください。今後の活動に役立てます。